

AJOSCの活動この1年

(平成26年1月～12月の主な活動)

1月

■平成25年度第4回常任幹事会を開催

2月

■「AJOSCかわら版(Vol.14)、(Vol.15)」を発行

3月

■平成25年度第2回理事会を開催

- ①平成26年度助成事業の選考について
- ②平成27年度以降の助成事業について
- ②平成25年度決算見込みについて

■平成25年度第5回常任幹事会を開催

4月

■監事会を開催

■社会貢献活動審査委員会を開催

■平成26年度第1回理事会を開催

- ①平成25年度事業・決算報告について
- ②平成26年度事業計画(案)について
- ③平成26年度収支予算(案)について
- ④役員の変更について
- ⑤第9回社会貢献大賞の審査結果について
- ⑥平成26年度助成事業の選考結果について
- ⑦平成26年度通常総会について

■「AJOSCかわら版(Vol.16)」を発行

AJOSC's 2013
社会貢献活動年間報告書

対談
道徳を重んじた人を受け入れ立ち直りの機会を捉える
共生・共感・共助の社会へ

玄秀盛さん
矢野を許さず社会と、謝罪の言葉はないだろう。やり直そうとする人が、世の中に受け入れられることで再び道を踏み外す悪循環に陥らないようにするには、社会が寛容のない目で見ることがあるかどうかにかかって、社会が、救済策で痛みや苦しみを分かち合ってくれる人々を救い立ち直りをサポートする活動の場が創設される。玄秀盛さんに人間として受け入れられたいという思いが込められた。

堀田力さん
「道徳を重んじた人を受け入れ立ち直りの機会を捉える」というテーマで、玄秀盛さんと対談した。玄秀盛さんは、社会とどう向き合ってきたのか、そして、社会がどう変わってほしいのか、について話された。玄秀盛さんは、社会とどう向き合ってきたのか、そして、社会がどう変わってほしいのか、について話された。

全日本社会貢献団体機構

社会貢献活動報告書「AJOSC's 2013」